

# 大旦町会だより

大旦まちうちを決勝戦で破る！

## 第38回社年ソフトボール大会で優勝

六月四日、信夫ヶ丘緑地公園で七チームが参加して開催され、大旦チームが見事に優勝を勝ち取った。

第一回戦は「上条」に



八対一で、第二回戦は「文知」に二対三で勝ち、第三回戦の決勝戦では「まちうち」と戦い、八対七でサヨナラ勝ちとなりました。選手の皆さんは怪我もなく頑張りました。壮年対象の大会ではありますが、動きは機敏で大いに楽しませてくれました。大旦チームには八〇歳を超えた選手もあり、フライングプレーには大喝采でした。

## 全市一斉清掃を実施

六月四日（日）午前六時から約一時間、全市一斉となる清掃を行いました。集会所に各班の代表が麻袋やビニール袋を受け取りに集まり、注意事項の説明を受けた後、それぞれ持ち場に戻って作業を行いました。

今回の主な作業は側溝の泥上げと草むしりで、全体で約一二〇名の会員が参加されました。ご苦労様でした。

## 第116号

発行日 2023年9月6日  
発行責任者 鳴原 久  
編集・印刷 齋藤 馨



したが、その鬱憤が優勝に繋がりました。しばらく振りの祝勝会ではお互いの健闘を称え合い、大いに優勝気分になりました。

## ソフトバレーボール大会は三位入賞

壮年ソフトボール大会と同日、東部体育館で第二〇回ソフトバレーボール大会がリーグ戦方式で開催され、五チームが参加し、大旦チームは第三位となり、優勝は当木チームでした。



## 集会所の清掃を実施

集会所の清掃は五月と二月の年間二回実施しています。一回目は五月二十八日に第一班、二班の班長さんをお願いしました。主に大会議室の床掃除やガラス磨きです。かなり汚れていましたが、これからは気持よく使用できます。班長の皆さんご苦労様でした。

## 防犯灯二カ所に設置

自治振興協議会には毎年要望事項を提出しています。その要望が認められ五月に二カ所設置されました。特に写真の場所（第六班付近）は、夜間帯における交差点内の様子が全く見えず、いつ事故が起きるか分からない状態でした。その他にも一カ所設置されました。



【班長さんご苦労様でした。綺麗になりました】

## 大壇愛宕神社夏季祭礼実行委員会を開く

六月九日、大壇愛宕神社夏季祭礼の第一回実行委員会を開きました。最初はコロナ感染問題から開催の是非について多くの時間を費やして協議した結果、四年ぶりに実施しようという結論に達しました。しかし今度はその実施内容について、コロナ感染を意識した意見が多く出て、これもまた多くの時間を費やし、様々な案について一つ一つ意見を出し合い、実施を決めました。日程的にも余裕がないことから、準備を進めながら修正を図っていくこととの集約がなされました。これ以降開催まで四回会議を開き万全を期しました。



## 桜土手を綺麗に 環境改善に努める

町会と桜守の会が中心となり、環境改善の一環として六月一〇日桜土手の除草作業を行いました。

この日は二〇名が参加し、桜土手法面と花壇の除草、垂れ下がった桜の枝を伐採しました。今後も草の伸び具合を見計らいながら、適宜行



## 太鼓打ち体験会開く 「桜鼓会」がピール

大巨桜鼓会は、会員拡大に向けたピール活動として、六月一八日集会所で太鼓打ち体験会を開きました。

低学年の可愛い体験者は齋藤利規会長の優しい説明を聞き、緊張しながらも、熱心に叩いていました。



## 支所から花苗提供

### 桜土手花壇に植栽

毎年二回東部支所から提供を受けている花苗の一回目が届きました。六月二二日、町会役員や桜守の会の会員二名が参加し、桜土手に設けられている五カ所の花壇に植栽しました。しばらくの間、私たちの目を楽しませてくれることでしょう。



【花壇が5カ所にあります】



【400年記念碑前のさつき】



【3班齋藤敏正さん畑のあやめ(令5.5.10)】



【20班渡辺正子さん宅のバラ(令5.5.28)】

## 町内散歩

## コラム

### 【子どもを見守る会】

#### 電柱一本分のオアシス

朝は少し涼しいとは言うけれど、今年はそんなことはない。つい「やれやれ、今日も三十六度か」毎朝出掛けに溜息交じりの独り言が出てしまう。でも、前を通っていく児童は元気だから負けてはいられない。

とにかく日差しは強いが、日陰はない。ある日気が付いた。ちゃんとはあるではないか、電柱一本分の日陰が！丁度横断歩道の前に立っているコンクリートの柱だ。その細長い日陰に私の体を横向きにするとスッポリ入った！日差しが当たらない分、暑さが全然違うのだ。そこで私はそれを「電柱一本分のオアシス」と名付けた。

#### 忘れ物は危険だ！

時々、先ほど元気に前を通って行った児童が、戻って来ることがある。忘れ物だと言う。慌てているから、左右も見ずに赤信号の横断歩道を渡ろうとする。私は慌てて制止する。とにかく早く家に戻らなければとのおせりばかりで、他のことに気が回らないから危険だ。

そこでお願ひですが、保護者の方も朝は忙しいでしょうが、出来るだけ忘れ物がないように、気を配っていただければ有難いです。

この暑さもあと少し続くでしょうが、きちんと睡眠時間を確保し、何とか異常なお天気に負けないよう頑張ろう！

【齋藤 馨】

